

## 令和7年度 泉州在宅医療懇話会 議事概要

日時：令和7年11月12日（水）午後2時から午後4時

開催場所：泉佐野市立文化会館（エブノ泉の森ホール）

出席委員：委員総数30名のうち27名出席（うち代理出席1名）

小川委員 東條委員 浦田委員 中田委員 松若委員 上嶋委員 八田委員 河崎委員  
野上委員 鹿島委員 西川委員 澤近委員 松岡委員（代理 中西氏）福田委員  
津塩委員 高田委員 田山委員 西濱委員 武藤委員 太田委員 南出委員 岩谷委員  
前島委員 熊本委員 桑原委員 長田委員 橋野委員

### ■議題1 府域における「在宅医療において必要な連携の拠点」等の取組状況について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後に質疑応答。

【資料1】在宅医療に必要な連携を担う拠点等の取組について

【参考資料1】医療計画における在宅医療の指標及び各圏域の参考指標の状況

#### ＜質問・意見等＞

質問・意見は、特になし。

### ■議題2 泉州圏域における「在宅医療において必要な連携の拠点」等の取組状況について

資料に基づき、大阪府和泉保健所・大阪府岸和田保健所・大阪府泉佐野保健所から説明。

説明後に質疑応答。

【資料2】連携の拠点及び積極的医療機関の取組について

#### ＜質問・意見等＞

（質問）

・大阪府は積極的医療機関を増やしたいのか。積極的医療機関にクリニックが入るべきと考えているのか。

（大阪府の回答）

・課題となっているのが24時間体制の構築、土日休日の対応ということで考えると、積極的医療機関が増える方が望ましいと思う。地域の実情に応じ進めてほしい。

（質問）

・大阪府で、ICTツールを用いた患者情報の連携に対し、一定の費用の負担を考えてもらえないか。

（大阪府の回答）

・医療情報を連携するためのシステム導入については、初年度に限り、一部を補助金の対象としている。

(意見等)

- ・在宅医療を 24 時間 365 日担保するため、報酬が得られるシステムにしないといけないと思う。
- ・連携の拠点において、大阪府内各圏域や泉州圏域の進捗状況の確認、好事例等の情報提供を希望する。連携の拠点、積極的医療機関をもっと強化していった方がよいと考える。
- ・ICT システムの統一化した方がいいのか、地域性があるのでそれぞれのシステムでいいのか、助言してほしい。
- ・高齢者救急の搬送、特に施設からの救急搬送が課題。連携の拠点や在宅医療の推進は、救急件数の減少が評価となるのではないか。

### ■議題3 地域医療介護総合確保基金事業(医療分)について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後に質疑応答。

【資料3】地域医療介護総合確保基金(医療分)について

【参考資料2】地域医療介護総合確保基金事業(医療分) 一覧

<質問・意見等>

(質問)

- ・連携の拠点や積極的医療機関が確保基金を利用出来るようにしてほしい。また、参考としたいで、他圏域での確保基金の利用状況を具体的に示してほしい。

(大阪府の回答)

- ・本基金は、自由度の高いものとなっている。堺市医師会では、連携の拠点が 24 時間体制の確保のため補助するしくみを構築し運用している。

### ■議題4 その他

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明。説明後に質疑応答。

【資料4】「人生会議の日」に向けた大阪府の取組等について

<質問・意見等>

(意見等)

- ・ACP 推進のため、ACP を実施した府民や関係職種へ、何らかインセンティブ(報酬等)を考えてほしい。